

令和3年度 委員会活動報告  
令和3年8月1日～令和4年7月31日

学術委員会

■構成メンバー(◎委員長、○副委員長)

- ◎三浦 稚郁子(公益社団法人地域医療振興協会)
- 若林 留美(東京女子医科大学病院)
- 明神 哲也(東京慈恵会医科大学)  
大江 理英(大阪府立大学大学院)  
加藤 尚子(Linköping University)  
角口亜希子(榊原記念病院)
- 仲村 直子(戸市立医療センター中央市民病院)
- 山内 英樹(東邦大学)
- 山田 緑(共立女子大学)
- 金子伊津子(横浜労災病院)
- 東雲 紀子(福島県立医科大学附属病院)
- 濱上亜希子(兵庫県立大学)

■活動の概要

3つの事情計画についてそれぞれ役割分担して行った。

1. 海外の循環器看護に関連する会との交流

<ACNAP: Association of Cardiovascular Nursing & Allied Professions との交流>

①ACNAPの会議で本会の活動内容を紹介した。紹介内容は、学会の使命や主な活動内容、本会が抱える課題などで、アジアの学会参加が少なく非常に歓迎された(2022年3月)。

②ACNAPから本会会員に対して、ESCガイドラインに関する調査の依頼があり、アンケートの翻訳作業を行い実施した(2022年5月)。参加国の中で日本は上位3位に入る調査対象数が得られ、ACNAPからEuro Heart Careへのオンライン参加の無料チケットを提供され、委員1名が現地で開催し、1名がオンデマンドで参加した。

③第19回の本会学術集会において、海外交流活動の紹介を行う交流集会を計画した。

2. 循環器看護の定義の検討

2018年から今期までの活動内容を報告書としてまとめ学会誌もしくはHP等で会員に報告する予定である。

3. 教育セミナーのあり方の検討および教育セミナーの開催  
第39回と第40回の教育セミナーをZOOMウェビナーによるオンラインで開催した。

①第39回概要

テーマ:「循環器疾患患者への意思決定支援」  
～心不全ステージに合わせた意思決定支援のコツ～

日時:2021年11月27日(土)13:00～16:05

講師:衣笠良治先生 鳥取大学医学部

テーマ:心不全ステージに沿った意思決定支援 一医師の視点・役割

講師:中島菜穂子先生 久留米大学病院 慢性疾患看護専門看護師

テーマ:心不全ステージA・Bにおける意思決定支援のコツ

講師:梅木恵先生 函館五稜郭病院 慢性心不全看護

認定看護師

テーマ:心不全ステージCにおける意思決定支援のコツ

講師:田中 奈緒子先生 兵庫県立姫路循環器病センター 慢性心不全看護認定看護師

テーマ:心不全ステージDにおける意思決定支援のコツ

参加者:会員95名 非会員84名 合計179名

②第40回概要

テーマ:「併存症をもつ循環器疾患患者の看護を実践しよう!」

日時:2022年6月25日(土)13:00～16:50

講師:岡田健一郎先生 のぞみハートクリニック院長

テーマ:循環器疾患患者の併存症を理解する

講師:岩瀬司先生 徳島大学病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師/慢性疾患看護専門看護師

テーマ:脳血管障害を持つ患者のケア

講師:吉田恵美先生 九州大学大学院 医学研究院保健学部門看護学分野 透析看護認定看護師

テーマ:慢性腎臓病(CKD)を持つ患者のケア

講師:土田由紀子先生 東京女子医科大学病院 糖尿病看護認定看護師

テーマ:糖尿病管理とフットケア

講師:北村幸恵先生 順天堂大学医療看護学部 慢性疾患看護専門看護師

テーマ:併存症を持つ循環器疾患患者のケア

参加者:会員86名 非会員58名 合計146名

第38回からオンラインセミナーに変更したが、38回と同様に、参加者の6割が会員であり、多くの会員に教育機会を提供することができた。アンケートでは、オンマンド配信やe-learningなどの要望があり、会員にとって、本会がいつでもどこでも何度でも循環器看護を学ぶことができる場になるように取り組んでいきたい。

4. 日本学術会議への申請

日本学術会議へ協力学術研究団体の申請を行い、審査中である。

以上

(報告者:三浦 稚郁子)

学会誌編集委員会

■構成メンバー(◎委員長、○副委員長、五十音順)

◎岡田 彩子(日本赤十字看護大学さいたま看護学部)

田村 綾子(四国大学)

宮脇 郁子(神戸大学)

稲垣 美紀(摂南大学)

落合 亮太(横浜市立大学)

三浦 英恵(日本赤十字看護大学看護学部)

白水真理子(姫路大学看護学部)

宮松 直美(滋賀医科大学)

## ■活動の概要

本年度は2回ウェブ会議と2回のメール審議および複数回の情報共有・情報交換を行い、以下の活動を行った。

1. 日本循環器看護学会誌の発刊(第17巻第1・2号)に係る校正、編集作業を行った。
2. 学会誌への投稿促進のための活動  
第19回日本循環器看護学会学術集会において、「電子カルテデータの二次利用による看護研究:論文執筆までのstep by step」というテーマで、投稿に繋がる成果のまとめ方、その手法とステップを教育セミナーとして、本委員会として企画した。
3. 科学技術情報発信・流通総合システムへの公開準備  
本学会誌への投稿促進の一助となること、また学術誌へのアクセスの容易さも投稿の活性化につながることを期待し、J-STAGE及びメディカルオンラインのサービス登録のための書類、契約書等の準備・確認を行った。
4. 投稿規程等の確認・改正  
著作物の電子化や雑誌のオンライン化、投稿件数の増加をめざして現行の投稿規定の課題の検討を行った。投稿者(筆頭者・共著者)の資格や範囲に関する事、オープンアクセスへ移行時の著作権に関する投稿規定の検討の必要性を整理した。

以上  
(報告者:岡田 彩子)

### 政策・診療報酬委員会

## ■構成メンバー(◎委員長、○副委員長、五十音順)

- ◎山田佐登美(川崎医科大学総合医療センター)
- 竹原 歩(兵庫県立姫路循環器病センター)  
三浦稚郁子(公益社団法人地域医療振興協会)  
多留ちえみ(神戸大学大学院)  
山部さおり(三菱京都病院)  
戸沢 智也(獨協医科大学)  
藤井 利江(兵庫医科大学病院)  
水川真理子(神戸市看護大学地域連携・教育研究センター)  
渡邊裕美子(独立行政法人国立病院機構 敦賀医療センター)

## ■活動の概要

### 1.委員会活動

- ・令和4年の診療報酬改定において本学会から厚生労働省に提案した「心不全再入院予防指導管理料(未収載)」は、検討はされたがエビデンス不十分ということで収載されなかった。
- ・令和4年2月10日に次回診療報酬改定にむけての提案事項や今後取り組むべき政策かだいについて検討した。
- ・令和4年4月18日からメールによる意見交換をし、令和6年度診療報酬改定に向けて「心不全再入院予防指導管理料(未収載)」について医療技術提案書と要望書を提出することを決定し、同年5月6日、看護系学会等社会保険連合会(看保連)に「意向調査票」を提出した。
- ・令和4年7月19日にオンライン会議を開催し、心不全患者への療養支援の実態とその成果等についてアンケート

調査を実施することを決定した。対象とする施設やその数、調査並びに分析方法、具体的な調査項目等について検討した。また、本学会への研究倫理審査の準備、今後のスケジュール等について話し合った。

### 2. 渉外活動

- ・公益社団法人日本看護協会医療政策部 医療制度課から、令和6年度診療報酬改定に向けて、慢性心不全患者の療養支援のエビデンス構築に向けた実証事業を実施する計画とそのために「病院の外来・診療所における看護機能の明確化に係る検討委員会」を設置し、本学会と連携して進めていくことの提案があり、本委員会委員長が委員の一人として参加することとなった。令和4年6月1日、6月22日、8月22日と3回委員会が開催され、実証事業計画書がほぼ、整った。今後、日本看護協会の倫理審査を経て今後実証事業に参加する施設の募集等が始まる予定。
- ・令和4年3月1日看保連の診療報酬あり方検討会等合同委員会にオンライン参加(委員3名)
- ・令和3年10月22日、令和4年3月18日の2回、看保連の情報交換会にオンライン参加(委員長)

以上  
(報告者:山田 佐登美)

### 広報委員会

## ■構成メンバー(◎委員長、○副委員長、五十音順)

- ◎鷺田 幸一(兵庫県立尼崎総合医療センター)
- 坂本 明子(千葉県立保健医療大学)  
戸田 美和子(倉敷中央病院)  
中野 直美(慶應義塾大学病院看護部)  
松本 幸枝(亀田医療大学)  
明神 哲也(東京慈恵会医科大学)

## ■活動の概要

- 1.学会ホームページ・会員専用コンテンツの充実  
学会ホームページ・会員専用コンテンツの充実に向けてウェブサイトの改修に向け活動を行った。複数業者との話し合いを経て、改修作業を依頼する業者を確定し、ウェブページ改修プランについて話し合いを行った。持続的に発展可能なウェブページになるよう、コンセプトの見直し、基盤の作成を検討した。
- 2.会員の研究・臨床実践活動に関する広報活動推進  
Newsletter vol.15の9月発行に向け、Newsletterの構成・原稿依頼・編集作業を行った。

以上  
(報告者:鷺田 幸一)

### 倫理委員会

## ■構成メンバー(◎委員長、○副委員長、五十音順)

- ◎池亀 俊美(榊原記念病院)
- ◎鷺田 幸一(兵庫県立尼崎総合医療センター)
- 中野 直美(慶應義塾大学病院看護部)
- 山田 緑(共立女子大学)
- 樗木 晶子(福岡大学)

## ■活動の概要

1. 令和3年度は、研究倫理申請が2件あり、倫理委員会委員にて、メール会議による簡易審査を実施し、うち1件を承認、うち1件は再申請待ちである。

以上  
(報告者:池亀 俊美)

### 国内交流委員会

## ■構成メンバー(◎委員長、○副委員長、五十音順)

- ◎田村 綾子(四国大学)
- 三浦稚郁子(公益社団法人地域医療振興協会)  
遠藤美代子(東京大学医学部付属病院)
- 竹原 歩(兵庫県立姫路循環器病センター)
- 仲村 直子(神戸市立医療センター中央市民病院)
- 前田 靖子(名古屋ハートセンター)

## ■活動の概要

1. 本法人の国内の循環器看護の関連法人・学会・研究会などを中心とした諸団体との交流をはかるため、メール会議を5回開催し、下記の関連学会とのジョイントシンポジウムの開催の承認、座長の推薦を行い、あわせて関連団体からの当学会の名称利用、協力依頼等についても審議した。

## ●開催済み

- ①日本循環器看護学会における日本人工臓器学会のジョイントシンポジウム(2021年10月9日、於名古屋)がWEB開催で行われた(座長:山中源治氏、演者:遠藤美代子氏、茂優子氏)。
- ②日本臓器移植関連学会協議会(2021年11月5日)にWEB会議で行われ、本学会から国内交流委員会遠藤美代子委員が参加した。
- ③第59回日本人工臓器学会大会(2021年11月26日、於東京)における他学会とのジョイントシンポジウムが行われた(座長:池亀俊美氏、演者:竹田悠人氏、小中野和也氏)。
- ④86回日本循環器学会学術集会(2022年3月13日、於岡山)で、ジョイントシンポジウムが行われた(座長:三浦稚郁子氏)。

## ●開催予定

- ①第60回日本人工臓器学会大会(2022年11月3-5日、於松山)でのジョイントシンポジウム(座長:前田靖子氏を推薦、演者:富山美由紀氏、岡田悦代氏を承認)の開催予定。
- ②第19回第日本循環器看護学会学術集会(2022年10月1-2日、於枚方)における他学会とのジョイントシンポジウム2演題(㉗日本糖尿病教育・看護学会との協働。座長:村内千代氏を推薦、演者:大串晃弘先生、山崎優介先生)
- ㉘日本フットケア・足病変医学会との協働。座長:藤木悠先生を推薦、演者:森小津恵先生を承認)の開催予定。
- ④第87回日本循環器学会学術集会とのジョイントシンポジウム(2023年3月10-12日、於福岡)で、座長に吉田俊子氏を推薦。

## ●審議事項

- ①第34回日本循環器病予防学会のセミナー(2022年8月6-7日、8月27-28日)における名義使用と日本循環器看護学会のホームページでの掲載による周知の依頼について承認した。

以上  
(報告者:田村 綾子)

### 選挙管理委員会

## ■構成メンバー(◎委員長、○副委員長、五十音順)

- ◎宇都宮明美(京都大学)  
大江 理英(大阪府立大学大学院)
- 岡田 明子(北里大学看護学部看護システム学)
- 正垣 淳子(神戸大学)
- 辻井 由紀(地方独立行政法人たつの市民病院機構  
たつの市民病院)

## ■活動の概要

1. 第5期理事選挙の実施と結果を理事会に報告した。

以上  
(報告者 宇都宮明美)

### 総務委員会

## ■構成メンバー(◎委員長、○副委員長、五十音順)

- ◎齊藤 奈緒(宮城大学)
- 若林 留美(東京女子医科大学病院)  
林 亜希子(北里大学病院)
- 小泉 雅子(東京女子医科大学)

## ■活動の概要

下記について、メール会議および2回のweb会議を実施した。

1. 入会申請者の確認
2. 各種費用支払いおよび令和3年度中間予算執行状況確認
3. 若手研究助成事業(応募、審査委員会立上げ、審査承認)
4. 個人情報保護、著作権等、学術集会実施要項等の規定類の見直し、一部改正
5. 事業オンライン化の環境整備
6. 会員ニーズ調査支援
7. 令和3年度理事会(対面およびweb)の準備・運営、令和4年度第1回定時社員総会、理事会の準備

以上  
(報告者 齊藤奈緒)